

～現在のワークスタイル変化に対応したビデオ・Web会議室システムのベストプラクティスとは～

組織と社員のパフォーマンスを高める

ミーティングプラットフォームの構築ガイド

Powered by

Zoom & SB C&S

働き方改革などを背景にリモートワークの必要性が高まる中、ビデオ・Web会議システムへの注目も高まっています。しかし、“そこそこ”の機能のWeb会議システムを導入してしまい、社内への浸透が進まず、活用しきれないというケースは少なくありません。

本書では、組織と社員のパフォーマンスを高めるミーティングプラットフォーム（Web会議システム）の構築に関するポイントなどを解説していきます。

目次

1章 現在のワークスタイル変化に対応したミーティング環境が求められている

- ・Web会議システムが求められている理由
- ・“そこそこ”のWeb会議システムを導入した際の運用課題とリスク

2章 組織と社員のパフォーマンスを高めるミーティングプラットフォームの構築ガイド

- ・成功するWeb会議システム導入企業に共通するポイント
- ・組織と社員のパフォーマンスを高めるために導入時に意識すべきポイント
 - ↳最も迅速で有意な ROI が得られる場所から活用する
 - ↳Web会議システム導入時に評価すべき項目
 - ↳運用フェーズにおける利便性を確認する
 - ↳他ツール・社内システムとの連携性がパフォーマンスを高める
 - ↳組織と共に成長できるビデオ・Web会議システムを採用する
- ・失敗しない導入プロジェクトの進め方

3章 世界80万社で採用されるZoomとは

- ・多くの成長企業がZoomを選択する理由
- ・世界80万社で採用されるZoomとは
 - ↳Zoom Meetings
 - ↳Zoom Webinars
 - ↳Zoom Rooms



1章

現在のワークスタイル変化に対応した ミーティング環境が求められている

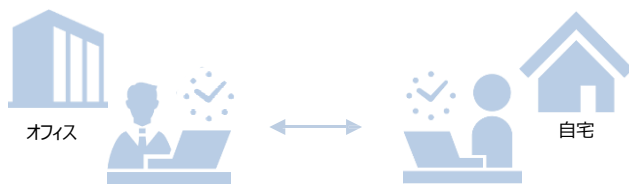
Web会議システムが求められている理由

少子高齢化や労働人口の減少の問題、働き方改革の推進などを背景に生産性の向上が叫ばれる中、Web会議システムへの注目も高まっています。

Web会議システムはインターネット環境があれば簡単に活用できることから、多様な勤務体系の社員や遠隔地の人とのコミュニケーションを容易にしますし、電話やメール等の文面だけでは詰め切れない案件についてもフォローすることが可能です。

求められる主な背景①

働き方改革・ワークスタイルの変化



仕事時間の短縮をはじめ、フレックス勤務や在宅勤務など、勤務の場所や時間にある程度の自由度がある勤務体系の導入が進む。

求められる主な背景②

遠隔地・拠点間の関係性強化



企業の成長やグローバル化に伴い遠隔地の人とのコミュニケーションが増え、移動コストが大きくなっていく。

Web会議システムを活用することで、**仕事時間の短縮や生産性向上、遠隔地の人との関係性の活発化などに繋げることが可能。**また、離れた場所で勤務する社員間で均一化された社内の人事施策の提供も可能となる。

“そこそこ”のWeb会議システムを導入した際の運用課題とリスク

前項での内容を背景に、Web会議システムは今後のビジネスシーンでより利用頻度が多くなったり、導入が進むことが予想されます。しかし、機能や活用方法を吟味せずに、“そこそこ”のWeb会議システムを導入してしまうケースが多いようです。

以下のような運用課題とリスクがあることを認識して導入を進めなければ、Web会議システムを十分に活用することはできません。

“そこそこ”のWeb会議システムを導入した際の主な運用課題とリスク

運用課題

不安定な通信



画質や通信が不安定で、会議が中断される。

コミュニケーションへの不安



顔を見ることができるとはいえ、Web会議での対話に違和感を感じ活用できない。

進まない社内浸透



左記内容などを背景に、利活用が進まない。

リスク

セキュリティリスク



インターネットに接続しているため、不正アクセスなどによる情報漏えいリスクがつきまとう。

こうした運用課題とリスクを踏まえて、
次章では失敗しない**ミーティングプラットフォームの構築のポイント**を解説します。



2章

組織と社員のパフォーマンスを高める ミーティングプラットフォームの構築ガイド

成功するWeb会議システム導入企業に**共通するポイント**

Web会議システムを導入することで組織と社員のパフォーマンスを高めている企業に共通するポイントは「**カスタマーサクセスを念頭においたツールを導入している**」ということです。

単に「Web会議ができる」という視点だけではなく「何を目的にどのように使うのか」といった場面まで想定して作られたツールを選定することで、組織と社員のパフォーマンスを高めることができます。

カスタマーサクセスを念頭においたツールとして意識したいポイント



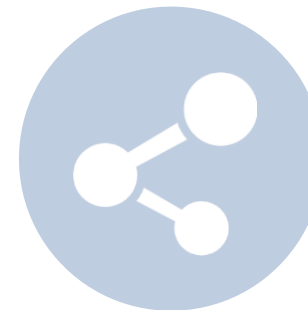
多様な目的に対応している

少人数での打ち合わせから
大人数でのセミナーまで対応可能か？



使いやすいUI/UXになっている

誰もが使いやすく、
継続的に利用したいと思えるUIか？



社内に溶け込みやすく 連携が充実している。

継続利用が進みやすくなるように
他ツールやシステムとの連携が可能か？

導入時にCheckすべきポイント

先述したようにWeb会議システム導入に成功している企業は「カスタマーサクセスを念頭においたツール選び」を行なっています。選定にあたって、より具体的な検討項目として、以下の5つのポイントを意識してください。

各ポイントの詳細については次項より解説いたします。

主なチェックポイント		主な内容
目的	最も迅速で有意な ROI が得られる場所から活用する	ü 具体的には利用シーン、使用頻度、拠点数などに見合った機能とツールを選定する
活用・運用	Web会議システム導入時に評価すべき項目とは？	ü 画像・通信品質・安定性をチェックしている ü セキュリティ環境をチェックしている
	運用フェーズにおける利便性を確認する	ü 運用後のユーザエクスペリエンス（UX）／利便性をチェックしている
拡張性	他ツール・社内システムとの連携性がパフォーマンスを高める	ü 相互接続性・拡張性を視野にいれて検討している
	組織と共に成長できるビデオ・Web会議システムを採用する	



①最も迅速で有意な ROI が得られる場所から活用する

Web会議システムを導入し、浸透させていくためには早期に利便性を社内を示す必要があります。そのため、導入の目的や目標の一つには、迅速かつ有意なROIが得られるものを設定することが重要です。

具体的には**使用頻度、拠点数などを明らかにした上で、迅速かつ有意な結果を得られる利用シーンを想定**するようにしてください。その上で、ツールの選定を行きましょう。

特に「移動コスト」が高いものから対応を進める

利用シーンに含まれる主な要素

開催・発生頻度



参加人数



参加拠点数



移動コスト



いずれの要素も重要だが、移動コスト（移動費＋人件費）が大きくなるケースが多いため、**移動コストが大きいかつ、他要素も大きくなるものから優先することで迅速で有意なROIが得られる。**

☑ ② Web会議システム導入時に評価すべき項目とは？

導入すべきWeb会議システムとして、「カスタマーサクセスを念頭においたツール」と述べてきましたが、より具体化した部分では「機能」「セキュリティ」「コスト」の視点でツールを評価します。

セキュリティ、コストについてはどの企業においても最低限重視すべき項目はある程度決まっていますが、機能については、以下で紹介する基本項目に加えて、各社の目的や用途に合わせて、選定することが重要です。

主に評価すべきポイント抜粋

機能面

安定した通信



通信や画像、音声安定していることに加えて、外出先でも対応可能なように、マルチデバイス対応か、また、接続人数の上限などを最低限把握する。

さらに画面共有機能や、ファイル共有機能など自社の目的に合わせて付随機能をチェックする。

安定した
画質・音質



接続可能
デバイス



接続可能数



セキュリティ面

安心安全の
セキュリティ



通信レベルでのセキュリティ対策だけでなく、ミーティング参加にパスワードが設定可能かなどを確認。

コスト面

ライセンス体系や用費



ライセンスの費用体系などが自社にマッチしているかを確認。

③ 運用フェーズにおける利便性を確認する

活用されるためには、システムやツールのUIがわかりやすかったり、利用のルールが明確であったり、既存業務のワークフローに組み込みやすかったりする必要がありますし、運用フェーズにおけるサポート体制についても確認しておくことが重要です。サポート体制の内容によっては、自社内でリソース確保が必要となります。これらを導入・運用前に把握するためには、事前のトライアルなどで確認するようにします。

運用フェーズを想定する際にチェックすること

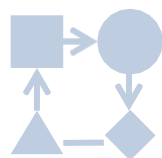
システム・サービスの要件

社内準備

誰もが使いやすいUIか？



業務フローに組み込みやすいか？



導入後のサポート体制は充実しているか？



社内のマニュアルやルール化ができてるか？



上記のポイントを中心に**運用を想定して、無料トライアルを実施**することで失敗しにくくなる。

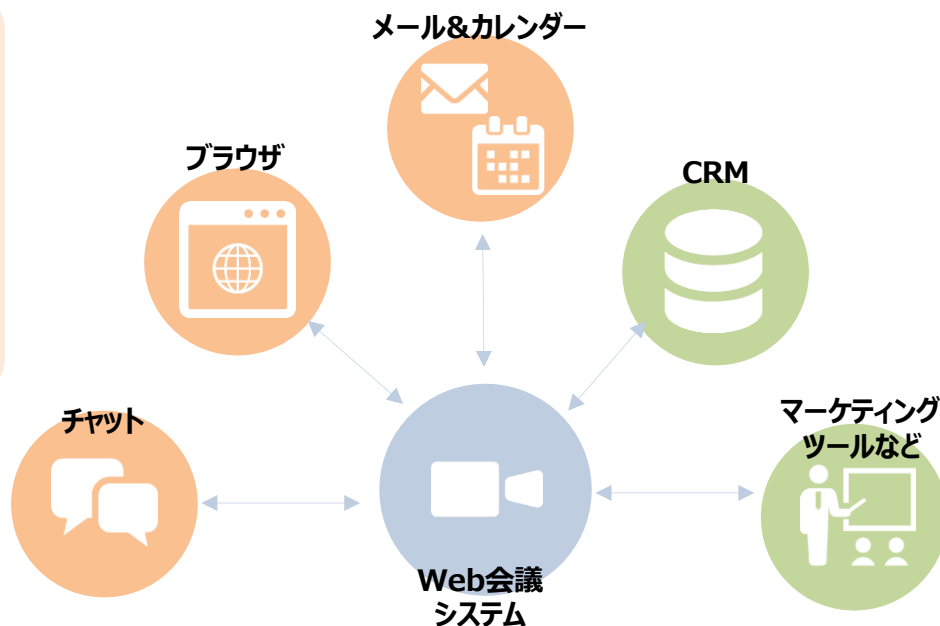
④ 他ツール・社内システムとの連携性がパフォーマンスを高める

Web会議システム導入時には他ツールや社内システムとの連携性についても確認することが重要です。例えば普段から利用しているメールやチャットなどと連携できれば、Web会議がより身近になり、社内に浸透しやすくなります。また、CRMやMA ツールなどと連携できるのであれば、Web会議システムを社内MTGや商談だけではなく、ウェブセミナーのツールとして活用できる可能性も出てきます。導入時点では不要でも、**組織が発展した時に活用できるケースが多いため、拡張性の高いWeb会議システムの導入がおすすめです。**

Web会議システムと連携できる主なツール・システム

生産性向上・ Web会議の浸透

普段から利用しているメール、カレンダー、ブラウザ、チャットなどのツールと連携することで、手間なくWeb会議システムを活用し続けることが可能になる。



ウェブセミナーなどの マーケティングへの応用

ウェブセミナー（ウェビナー）などにWeb会議システムを応用する場合に、CRMやMA ツール連携することで、セミナー参加者と継続的な関係構築に繋がる。

⑤ 組織と共に成長できるビデオ・Web会議システムを採用する

スモールスタート時に“そこそこ”のツールを導入した組織でよくみられるのが、組織の成長やWeb会議システムの利用者の増加に伴って、ツールを変更するというものです。せっかくWeb会議の文化が定着しても、ツールが変わってしまうと、改めて社内に浸透させる手間がかかってしまいます。

上記のようにならないためには、組織の成長や活用の幅が広がっても一貫して使用できるWeb会議システムを採用することが望ましいです。

組織の成長に伴い活用の幅も広がる。それに対応できる「Web会議システム」を採用

面談や簡易的な打ち合わせ



参加者規模
～数名



中～大規模な会議



参加者規模
～数十名



ウェブセミナーなど



参加者規模
数百名以上～

いずれの用途・段階においても活用可能なビデオ・Web会議システムを採用することで、スイッチコストなどが発生せず、組織の成長スピードを維持したまま活用できる。

失敗しない導入プロジェクトの進め方

組織と社員のパフォーマンスを高めるミーティングプラットフォームを構築するためには、以下の4ステップを実践していきます。

特に、「目的/目標の設定」と「Web会議システムの選定」はプロジェクトの成否を分ける重要なステップですので、今までご紹介したポイントを踏まえて検討することが重要です。

運用までの主な導入ステップ

STEP 01

目的/目標の設定



まずは最も迅速で有意な ROI が得られる目的を設定する。



STEP 02

Web会議システムの選定



前項までに示した「導入時に意識すべきポイント」を参考にWeb会議システムの選定を行う。複数の候補の資料請求や無料トライアルを通して、目的が達成可能か検討して決定する。



STEP 03

導入・構築



導入・構築にあたっては、クラウド型かオンプレミス型によって工数が異なるので注意。



STEP 04

運用



システムのサポート体制や、活用のルールを設定した上で、社内に展開。



3章

世界80万社で採用されるZoomとは

多くの成長企業がZoomを選択する理由

組織と社員のパフォーマンスを高めるミーティングプラットフォームとして多くの企業に採用されているWeb会議システム・サービスが、「Zoom」です。Zoomは**独自の圧縮技術(特許)による少ない通信量で安定したビデオとクリアな音声を実現**しているほか、拡張性が高く、各企業の成長フェーズに合わせた活用が可能となっています。



米国の大手レビューサイトでも、使いやすさや安定性が評価され、同ジャンルにおける満足度1位を獲得しています。

世界80万社で採用されるZoomとは

ZoomはForbes 100社のうち60%、**米国主要大学の96%をはじめ、世界80万社で採用**されているWeb会議システムです。

このように多くの企業から評価されているZoomは、**コミュニケーションを円滑にすることによって、人々がHappyになることを目的として“Meet Happy”・“Delivering Happiness”をポリシーに事業を展開**しています。

Zoomのエンタープライズ向け製品のラインナップ



Zoom Meetings

あらゆるデバイスでの簡単なビデオ会議とメッセージングを実現



Zoom Webinars

信頼性が高くスケーラブルなウェビナーソリューションでリーチを拡大



Zoom Rooms

ボタンをタップするだけでビデオMTGの開催や参加を簡単に実行

各ラインナップの概要や特徴について次頁をご参照下さい。

Zoom Meetings

「Zoom Meetings」はリアルタイムメッセージングとコンテンツ共有が可能な企業向けビデオ会議です。

どのデバイスでもミーティングの開始、参加、コラボレーションを簡単にできる機能で、素早い導入を実現します。

主な特徴



HDビデオ・高品質オーディオ

高品質のビデオ、オーディオ。さらに、最大1,000人のビデオ参加者に対応でき、最大49のビデオをスクリーン上に表示可能。



ミーティングの安全確保

エンドツーエンドの暗号化、ロールベースのユーザーセキュリティ、パスワード保護、待機室、出席者の保留などによりミーティングの安全を確保。



記録とトランスクリプト

ローカルやクラウドへのミーティングの記録、AIが生成したトランスクリプトの確認が可能。



コミュニケーションをサポート

他ツールとの連携や、チャット、共同作業ツールなどが搭載されており、コミュニケーションの円滑化をサポート。



マルチデバイス、デュアルカメラ、デュアルモニターにも対応

参加者はアカウントがなくても、URLをワンクリックするだけで参加可能



あなたをZoomミーティングに招待しています。
Zoomミーティングに参加する
<https://zoom.us/j/xxxxx>

Zoom Webinars

「Zoom webinars」は大人数が視聴する研修や役員講話、外部向けセミナーなど様々な場面で活用することが可能です。

ホストと指定されたパネリストがビデオ、オーディオ、画面を共有できたり、外部ツールと連携させることで、ウェビナーを収益化することもできます。

主な特徴



広範囲に展開

最大10,000人の参加者、最大100人(ミーティングライセンスの最大定員に依存)のパネリストに対応。
Facebook Live、YouTube連携可能。



簡易な運用

簡単に登録の入力項目が作成でき、参加・不参加のレポートも表示可能。スケジュール管理も実施可能。



ウェビナーをサポートする充実機能

画面共有、投票、チャット、Q&A、参加者をパネリストに格上げなど充実の機能。



他ツールとの連携

Salesforce、Marketo、Eloqua、Zapierなどと連携可能。
Zapier経由でのPaypal統合によりウェビナーを収益化するオプションも。



大人数への発信型の研修や講話は、
視聴のみの参加やQ&A機能を活用

Zoom Rooms

「Zoom Rooms」はソフトを入れる専用PC、コントロール用のタブレット、モニター、カメラ、マイク、スピーカーを用意いただくことで、TV会議専用端末のように会議室からの参加が可能になります。

主な特徴



HDビデオ・高品質オーディオ

既製品でどんなサイズの会議にも対応する高品質のビデオ、オーディオ。



ワイヤレス共有

PCやモバイル端末からIntelligent Proximityによりワンクリックでコンテンツの共有の開始可能。



ワンタッチで会議室の予約・会議開始

インスタントミーティング、またはお手持ちのカレンダーシステムとの連携可能。



リモート管理

拡張性のある管理に適応したダッシュボード。場所別、ルームタイプ別グループなどに対応。



個人メールアドレスではなく
会議室に紐づくライセンス

汎用的なデバイスを
常設するだけでOK



本資料についてのお問合せやご相談は下記までご連絡ください。



Zoomのご導入、ご提案はCloud Service Conciergeにお任せください。

専門スタッフがご対応いたします

Cloud Service Conciergeでは、専門スタッフによる全てのZoom製品とそのライセンスのご提案が可能です。専門スタッフが、ボリュームディスカウントの適用、お客様の環境に合わせた最適なZoom製品、ライセンスに関するご相談にお答えします。

SaaS業界に精通した専門家が 職種・業務にマッチしたツールを提案

市場にある数多くのSaaSの中から、貴社の課題や職種、導入する部署のニーズに合ったツールのみを厳選してご紹介します。SaaS業界に精通した専門家による最適なツールのセレクトにより、貴社のご担当者様がツールの比較検討にかかる時間と手間を大幅に削減します。信頼性・安全性・セキュリティ面などの明確な基準を満たした高品質なサービスをご提案し、あらゆる職種の業務効率化に貢献します。

お問合せ先

【Zoom相談センター Powered by Cloud Service Concierge】
csc-sales@licensecounter.jp

【URL】

<https://cloudserviceconcierge.com/contact>